

家畜市場 価格の推移 (2月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	14	14	100.0%	260,280	24,840	72,669
	雄	127	123	96.9%	129,600	12,960	91,970
計	141	137	97.2%	260,280	12,960	90,054	66
F1	雌	224	206	92.0%	291,600	76,680	233,386
	雄	212	196	92.5%	365,040	75,600	278,813
計	436	402	92.2%	365,040	75,600	255,475	67
ホルス(5才) 雌	22	20	90.9%	395,280	101,520	261,605	779

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
根室	2日	279	205	73.5%	1,193,400	542,160	918,685
十勝	7日	598	388	64.9%	1,341,360	338,040	944,986
北海道	10日	120	109	90.8%	1,154,520	455,760	817,471
釧路	15日	275	192	69.8%	1,065,960	595,080	841,500
根室	16日	382	284	74.3%	1,061,640	397,440	871,218
豊富	17日	355	273	76.9%	1,143,720	503,280	871,323
十勝	21日	671	519	77.3%	1,338,120	209,520	911,863
北見	22日	407	290	71.3%	1,115,640	551,880	852,377
		3,087	2,260	73.2%	1,341,360	209,520	878,678

業務報告 (2月分)

- 3日 庄原市農業再生協議会臨時総会
- 6日 島根県畜産技術センターみわTMRセンター視察
- 7日 JA経営対策担当部長会議
- 7日 安芸高田市堆肥センター協議
- 9日 Jミルク需給見通し説明会
- 9日 酪農制度改革に関する与党との緊急意見交換会
- 10日 三次市酪農振興会全酪連セミナー
- 10日 全酪力ーフトップ五十周年取材
- 10日 甲奴郡酪農組合女性部新年会
- 11日 亀井静香新年互礼会
- 14日 平成二十八年食育推進会議
- 14日 日本酪農政治連盟事務局長会議
- 14日 畜産環境研修会
- 15日 全酪連監事・役員研修会 (十五日迄)
- 15日 牛乳普及協会学乳部会検討会
- 16日 女性・リタイヤ世代等就業推進検討委員会
- 16日 ヘルパー調整会議
- 17日 検定員研修会 (十七日迄)
- 17日 山陽乳業(株)経営検討会
- 17日 北広島町酪農団体連絡協議会研修会
- 17日 アフラトキシンM1検査にかかる研修会
- 17日 出店者連絡会・フオローアップ委員会
- 20日 乳代精算システムあり方検討会
- 20日 全酪連酪農生産研究会視察 (二十一日迄)
- 21日 第二回国際農政研修会
- 21日 畜産クラスター情報交換会
- 22日 北広島町畜産部会
- 23日 学乳推進協議会
- 23日 内部監査
- 24日 牛乳普及協会運営委員会
- 24日 新規就農者助成事業説明
- 24日 畜産特別資金支援協議会
- 27日 西部・高宮DMS入力会
- 27日 グリーンウインズさとやま取締役会
- 28日 第十一回理事会

編集後記

- ▼平成二十九年もあつと云う間に三月を終えようとしています。
- ▼組合員各位には、確定申告を終えた安堵感もつかの間、水稲作付け、飼料作物の作付け等に備えておられるものと思えます。
- ▼三月六日には、ひろらく女性グループ連絡協議会がRCC中国放送アナウンサーの横山雄二氏を招いて「放送界の裏話」と題する講演もありました。
- ▼講演会で登壇するなり、酪農女性の皆さんを前にして、「ガツカリ・・・」との一声に少々顔が引きつった参加者もあつたのでは無いかと心配しましたが、皆さん大丈夫でしたか？
- ▼横山氏は、RCC平成ラジオ「ごぜんさま様」で毎週火曜日から金曜日を担当し、講演会当日は月曜日とのこと、数ヶ月前から予約を入れ実現出来たものです。
- ▼この講演では、東日本大震災から毎年被災地訪問と、チャリティーコンサートで得る入場料すべてを義援金として届け続けられる思いやりのある行動と姿勢に、ただただ頭の下がる思いでありました。
- ▼また「幸せ区域五十%、不幸せ区域五十%」とし、幸せ側に常に心が向くようポジティブ思考で幸せ区域の領域を努めて増やそうと心がけられている姿にも共鳴しました。
- ▼改めて、ひろらく女性グループ連絡協議会の講演会にお越し頂いたご縁に感謝いたします。ありがとうございました。
- ▼話題は、一転、規制改革推進会議からの

市町別生乳受託量の進捗状況(2月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	28年度累計	前年比(累計)
庄原市	797.0	22.2%	92.7%	9,863.1	100.1%
三次市	630.8	17.6%	90.1%	7,617.4	95.1%
世羅町	537.9	15.0%	102.7%	6,546.8	104.0%
北広島町	391.0	10.9%	98.3%	4,627.3	99.9%
安芸高田市	358.2	10.0%	92.8%	4,129.5	97.5%
東広島市	297.8	8.3%	101.8%	3,618.2	95.4%
府中市	190.1	5.3%	93.6%	2,393.8	98.7%
福山市	132.6	3.7%	105.8%	1,441.3	105.2%
三原市	81.0	2.3%	82.5%	1,054.4	91.2%
広島市	68.4	1.9%	78.7%	894.3	91.2%
神石高原町	54.9	1.5%	67.5%	732.2	85.2%
呉市	48.1	1.3%	89.1%	562.6	98.8%
廿日市市	0.0	0.0%	0.0%	9.1	2.8%
合計	3,587.7	100.0%	94.7%	43,489.9	97.7%

プール乳価(2月分)

2月分プール乳価	110.835円
前月分プール乳価	109.758円
前月対比	100.98%

生乳生産量など前年同期比較(2月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	45戸	34.6%	106,357.2
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	85戸	65.4%	-344,017.3
合計	130戸	100.0%	-237,660.0

注)この比較は、平成29年2月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(廃業組合員は含まない)

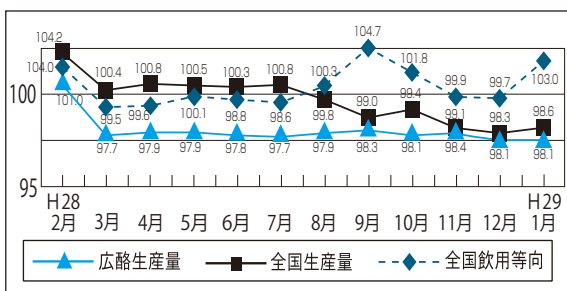
生乳受託実績(2月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	12	40	39	130
生乳出荷量(ト)	1,280.9	345.9	817.5	1,143.4	3,587.7
前年同月対比(%)	90.8%	88.5%	93.7%	99.6%	94.7%
前月対比(%)	92.0%	90.0%	92.7%	88.8%	90.9%
生乳出荷累計(ト)	15,721.4	4,180.8	9,660.1	13,927.5	43,489.9
広酪構成比(%)	36.1%	9.6%	22.2%	32.0%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(1月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	42,768	874	29.50%	48.9
2	三次市	30,585	675	21.10%	45.2
3	安芸高田市	18,268	382	12.60%	47.7
4	北広島町	14,389	425	9.90%	33.8
5	府中市	13,480	220	9.30%	61.0
6	世羅町	6,389	607	4.40%	10.5
7	福山市	6,266	144	4.30%	43.3
8	東広島市	5,437	330	3.80%	16.5
9	三原市	4,708	93	3.20%	50.3
10	広島市	1,152	73	0.80%	15.6
11	神石高原町	1,132	61	0.80%	18.4
12	呉市	348	53	0.20%	6.5
合計		144,928	3,946	100.00%	33.1

生乳需給の前年比推移(1月) (単位:%)



意見から物議を醸した「加工原料乳生産者補給金等暫定措置法」は、恒久法として改正「畜安法」に盛り込む形となる方向で、現在会期中の通常国会に提出される手はずで進んでいます。

▼農林水産省からは、改正「畜安法」を含め八本の法案が審議される予定のようです。

▼改正畜安法は、平成三十年四月一日を施行期日とする案であり、野党側からはこの法改正にあたり「酪農家の所得向上にどうつながるのか、バター不足は解消されるのか?」これら根拠が見えないなどの指摘も生まれているようです。

▼国の農業競争力強化プログラムは、農業者の所得向上を支え、攻めの農業実現のための後押しであり、プログラムの達成を図る故に法改正が進められているのだと解釈していますが、真に農業者所得向上を実感出来る内容であってほしいと願うところです。

▼前述、平成二十九年度加工原料乳生産者補給金交付単価は、既に十円五十六銭と決定し、従来の脱脂粉乳、バター、チーズに加えて生クリームが補給金の対象となりました。

▼中国生乳販連が平成二十七年度の脱脂粉乳、バター、チーズ認定数量に加えて、その年度の生クリーム量(認定数量と想定)でもっての試算では、十三銭の上昇と示しました。

▼この点に限って云えば、酪農所得の向上にはなっているのかな。

(A・N)